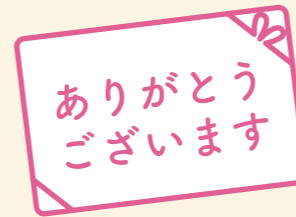




特集

ほっとかないまちづくり  
-つながることで、支え合う-

福祉学習(西小学校)の様子。視覚に障がいがある山本美智子さん(郷市)と交流する子ども達。



《令和5年7/1~9/30》

地域福祉活動にいただきました

心よりお悔み申し上げます

- 山口邦明さん(太田)より、故 健太郎さんのご香典の一部 100,000円
- 山本実さん(菅浜)より、故 まつゑさんのご香典の一部 100,000円
- 大塩伸一さん(五十谷)より、故 五一さんのご香典の一部 100,000円
- 藤井篤子さん(岡山市)より、故 古川典子さんのご遺志 100,000円
- 金吾愷司さん(河原市)より、故 里子さんのご香典の一部 200,000円

篤志寄付

- 橋本澄代さん(矢筈)より、1,000円
- 吉田寛司さん(北田)より、1,000円
- とく名さんより、2,000円
- とく名さんより、車両貸出お礼 1,000円

使用済み切手

- JA福井みはま支店さん
- 中島エミ子さん(早瀬)
- 美浜町グラウンド・ゴルフ協会さん(郷市)
- 三田勝彦さん(佐田)
- 美浜町健康福祉課さん
- (有)今村石油さん(河原市)
- 金吾愷司さん(河原市)
- レインボー観光自動車さん(若狭町)
- 美浜ライオンズクラブさん
- 河原市すみれ会さん
- 若狭国吉城歴史資料館さん(佐柿)
- 崎元恵子さん(小倉)
- 津原千里さん(佐柿)
- 藤間洋子さん(早瀬)
- とく名のみなさん

書き損じはがき

- とく名さん

ベルマーク

- 中島エミ子さん(早瀬)
- 片板慶子さん(郷市)
- 松永茂雄さん(敦賀市)
- 美浜町グラウンド・ゴルフ協会さん(郷市)

未使用切手

- 崎元恵子さん(小倉)

未使用はがき

- 河原市すみれ会さん
- とく名さん

その他  
各種サービスにいただきました

- 池田義治さん(麻生)より、米
- 馬野豊子さん(野口)より、介護用品
- 日向ときめきクラブさんより、雑貨
- 佐竹加代さん(麻生)より、野菜
- 塚原千恵子さん(興道寺)より、野菜
- 山口邦明さん(太田)より、介護用品
- 河原市すみれ会さんより、日用品、衣料品
- 崎元恵子さん(小倉)より、収入印紙
- とく名のみなさんより、野菜、米、日用品、衣料品

「デイサービスセンターほほえみ」にいただきました

- 田邊久子さん(佐田)より、果物
- とく名さんより、野菜

「でんでんむしの家」にいただきました

- 八木賢さん(郷市)より、野菜
- とく名のみなさんより、野菜、米、花、飲料、雑貨、食品

「弥右工門さん家」にいただきました

- 田邊久子さん(佐田)より、果物
- とく名のみなさんより、野菜、果物、食品、雑貨

「吉右工門さん家」にいただきました

- 山本康雄さん(佐柿)より、野菜

※氏名、名称、金額、品名などについて、了解を得た方のみ掲載させていただきます。

編集後記

今回は様々なつながりづくりについて特集させて頂きました。コロナ禍での活動における葛藤と、戻りつつある集落活動の現状、そして、どんな状況でも変わらないつながりもあるのだというところを、今回伺いしたお話の中であらためて感じました。

(塩浜)

発行：社会福祉法人

美浜町社会福祉協議会

(美浜町保健福祉センター「はあとびあ」内)

〒919-1141 美浜町郷市25-20

TEL (0770)32-1164 FAX (0770)32-5915

E-mail shakyo1164@kl.mmnet-ai.ne.jp

http://www.mihamachoshakyo.com

福井県 美浜町社協 検索



美浜町社協  
ホームページ

様々なつながりづくりに取り組んでおられる方々にインタビュー！

金山区福祉委員会

平成22年に福祉委員会設置。現在、毎月1回の定例会議を行い、継続的に活動が行われている。

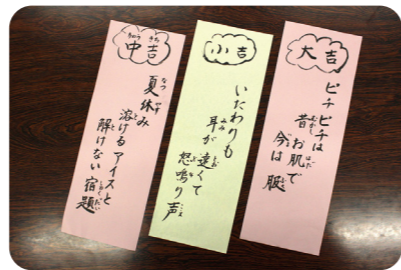


民生児童委員 田邊三枝子さん(写真左)  
福祉委員 田邊敏明さん(写真右)

毎月開催する福祉委員会の定例会では、それぞれが見守りを担当する世帯について、委員のみなさんから「〇〇さんお元気そうだったよ」「少し体調が悪そうだった」など、様々な情報が共有されます。一人では気づけないことも、見守りの目がたくさんあるからこそ気付くこともあるのだと実感しています。

ここ数年はコロナ禍でふれあいサロンの開催がままならず、もどかしい思いをしました。現在はNOマスクも公に認められるようになり、やっと活動も再始動できました。先日は区の秋祭りに福祉委員会として参加し、委員みんなで考えた「おもしろ川柳おみくじ」というコーナーを実施しました。みなさんのアイデアで、楽しい時間を

作ることができたと思っています。集落への愛着は、集落住民同士のつながりによって育まれていくのではないかと考えています。そのためにも「地域で子育てをする」という考え方が大切だと思います。子どもの頃集落で過ごした思い出が、大人になったときの、集落のことを大事に思う気持ちにつながるのではないかと思います。



「おもしろ川柳おみくじ」。箱から一枚引き、書かれた川柳をマイクで読み上げてもらう。子どもも用意(写真左)。

北西郷公民館

旧美浜北小学校を活用し、2015年に開館。早瀬・笹田・日向の3集落を対象地域として、各種事業を実施している。



館長 高木正さん

10月12日に、北西郷公民館運営委員会ふれあいづくり部会の主催で、北地区(早瀬・笹田・日向)合同ふれあいバス遠足を実施しました。ここ数年のコロナ禍で高齢者の孤立感が増している中、あらためて地域のみなさんがふれあえる機会を作ることが目的です。委員のみなさんのご協力、地元の新しい観光施設(レイクセンターやレインボーラインなど)を訪れ、地域の良さを再発見していただけたのではないかと考えています。

北地区は昔ひとつの村であったこ

ともあり、今でもつながりが深いように感じます。運営委員会のみなさんも、ここ旧北小学校の卒業生やその親です。北地区のつながりは、小さい頃から根付いているものなのだと感じています。

公民館活動には、世代を問わず「オールエイジ」で参加してもらいたいと思っています。常設グラウンドゴルフコース(利用無料)をはじめ、気軽に集える場、参加できる場づくりをこれからも続けてまいります。



①



②

①メモリアルルームには、北小時代の思い出がたくさん。

②ふれあいバス遠足の様子。さわやかな秋晴れの中、たくさんの笑顔が見られました。

研修の内容を  
ちょこっとご紹介♪

社協職員から、「地域のみなさんの」「〇〇さん、最近少し心配だな」という気付き、そして「困っているみたいだから何かできないかな」という思いが、よりよい地域づ

9月16日(土)、保健福祉センターはあ とびあにて、民生児童委員・福祉委員合同研修会を開催しました。本研修会は、地域におけるつながりづくりと支え合いの仕組みづくりを担う民生児童委員さんと福祉委員さんが一堂に会し、その連携の一助となるよう開催しているものです。今回はその研修の様子をお伝えするとともに、「集落内のつながりづくり」と「集落を超えたつながりづくり」を実践していただける方々の取り組みをご紹介します。

ほっとかないまちづくり  
つながることのできる支え合う



集落でのつながりが  
見守りの「要」です!

くりの力になる」というお話をさせて頂きました。福祉委員会が、その気付きを関係者で共有し、具体的な活動につなげるために大きな役割を担っています。

その後は、仮想人物(ペルソナ)を想定し、その人が参加しやすい地域活動のアイデアを出し合いました。



大河ドラマが好きだから  
大河ドラマ  
上映会はどう?

元電気屋さんだから  
家電修理  
ボランティア  
どうかな?

本人の「できないこと」だけに目を向けるだけでなく、本人の「得意なこと」や「強み」に着目したアイデアがたくさん見られました。

つながることの大切さは、生活課題が多様化している昨今において、あらためて重要視されています。厚生労働省も、課題を解決することを前提とするのではなく、生活課題を抱える本人に「伴走」する支援、すなわち「つながり続けること」を目指すアプローチを、施策として明示しています(地域共生社会中間とりまとめより)。また、来年4月1日から施行される「孤独・孤立対策推進法」にも、その趣旨として「人と人のつながりが生まれる社会」が明記されています。

金山区のお二人にお話を伺った際、新たに集落に入られた方々とのつながりを持つ機会が少ない、との声がありました。コロナ禍を経た今、あらためてお互いを「知り合える」取り組みが求められていると思います。

一方で、知り合うこと、つながることを求めない世帯もあると思います。何かしらの生活課題を抱えているように見え、周囲がもどかしい思いを抱えることもあります。しかし、「つながり続ける」ということが大きな支援の一つであり、延いてはその世帯を孤立させないことにつながるのだということを知っていただけたらと思います。



【和田区】

東 あ ゆ み 早 芳 昭 今 一 雄 藤 正 仁 武 長 一 郎 藤 川 正 嗣 早 川 正 二 早 川 正 泰 藤 川 正 泰 今 藤 川 正 泰 今 藤 川 正 泰

【木野区】

大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史

【佐柿区】

大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史 大 逸 史

【太田区】

金 田 英 名 武 長 一 郎 山 崎 俊 太 山 崎 俊 太 山 崎 俊 太 山 崎 俊 太 山 崎 俊 太 山 崎 俊 太 山 崎 俊 太

【佐田区】

上 原 秀 夫 上 原 秀 夫 上 原 秀 夫 上 原 秀 夫 上 原 秀 夫 上 原 秀 夫 上 原 秀 夫 上 原 秀 夫

【北田区】

澤 井 美 恵 子 三 川 昌 夫 中 川 昌 夫 中 川 昌 夫 中 川 昌 夫 中 川 昌 夫 中 川 昌 夫 中 川 昌 夫

【麻生区】

宮 下 秀 正 宮 下 秀 正 宮 下 秀 正 宮 下 秀 正 宮 下 秀 正 宮 下 秀 正 宮 下 秀 正 宮 下 秀 正

【中寺区】

芝 井 敬 子 芝 井 敬 子 芝 井 敬 子 芝 井 敬 子 芝 井 敬 子 芝 井 敬 子 芝 井 敬 子 芝 井 敬 子

【宮代区】

大 藤 村 長 浩 一 大 藤 村 長 浩 一 大 藤 村 長 浩 一 大 藤 村 長 浩 一 大 藤 村 長 浩 一

【小三ヶ区】

大 武 藤 村 長 浩 一 大 武 藤 村 長 浩 一 大 武 藤 村 長 浩 一 大 武 藤 村 長 浩 一

【新庄区】

小 高 鳥 羽 真 晃 小 高 鳥 羽 真 晃 小 高 鳥 羽 真 晃 小 高 鳥 羽 真 晃 小 高 鳥 羽 真 晃

【菅浜区】

高 井 智 彦 高 井 智 彦 高 井 智 彦 高 井 智 彦 高 井 智 彦 高 井 智 彦 高 井 智 彦 高 井 智 彦

【竹波区】

山 本 健 造 伊 藤 憲 次 伊 藤 憲 次 伊 藤 憲 次 伊 藤 憲 次 伊 藤 憲 次 伊 藤 憲 次 伊 藤 憲 次

【丹生区】

丹 野 正 純 丹 野 正 純 丹 野 正 純 丹 野 正 純 丹 野 正 純 丹 野 正 純 丹 野 正 純 丹 野 正 純

【けやぎ台区】

杉 本 美 和 子 杉 本 美 和 子 杉 本 美 和 子 杉 本 美 和 子 杉 本 美 和 子 杉 本 美 和 子 杉 本 美 和 子

【その他】

知 場 敬 恵 知 場 敬 恵 知 場 敬 恵 知 場 敬 恵 知 場 敬 恵 知 場 敬 恵 知 場 敬 恵 知 場 敬 恵

【企業・団体】

(株)アイビックス (株)アイビックス (株)アイビックス (株)アイビックス (株)アイビックス (株)アイビックス (株)アイビックス

【佐野区】

森 田 昭 森 田 昭 森 田 昭 森 田 昭 森 田 昭 森 田 昭 森 田 昭 森 田 昭 森 田 昭 森 田 昭

【上野区】

前 原 啓 志 前 原 啓 志 前 原 啓 志 前 原 啓 志 前 原 啓 志 前 原 啓 志 前 原 啓 志 前 原 啓 志

【興道寺区】

熊 谷 誓 成 熊 谷 誓 成 熊 谷 誓 成 熊 谷 誓 成 熊 谷 誓 成 熊 谷 誓 成 熊 谷 誓 成 熊 谷 誓 成

【雲谷区】

中 村 睦 美 中 村 睦 美 中 村 睦 美 中 村 睦 美 中 村 睦 美 中 村 睦 美 中 村 睦 美 中 村 睦 美

【小倉区】

山 崎 裕 子 山 崎 裕 子 山 崎 裕 子 山 崎 裕 子 山 崎 裕 子 山 崎 裕 子 山 崎 裕 子 山 崎 裕 子

【栄区】

藤 田 明 藤 田 明 藤 田 明 藤 田 明 藤 田 明 藤 田 明 藤 田 明 藤 田 明 藤 田 明 藤 田 明

【坂尻区自治会】

木 下 修 一 木 下 修 一 木 下 修 一 木 下 修 一 木 下 修 一 木 下 修 一 木 下 修 一 木 下 修 一 木 下 修 一

【山上区】

橋 本 喜 代 橋 本 喜 代 橋 本 喜 代 橋 本 喜 代 橋 本 喜 代 橋 本 喜 代 橋 本 喜 代 橋 本 喜 代